



【添付資料①】

原料相場の動向

1. 原料相場の動向「食用油」(1)

【添付資料】原料相場の動向



2015年度 上期

大豆相場は、2014年度北米産と2015年度南米産の豊作により4～6月は9～10ドルで推移。7～8月は北米の天候不良懸念のため10ドル超えの時期もあったが、その後は天候回復による豊作予想や中国の景気減退不安による原油などの商品市況の下落の影響で、8ドル後半～9ドルで推移。

為替(円ドル)は120～125円台で推移。

国内製油メーカーは、1月以降20円/kgの値上げに引き続き、円安やミール販売価格の下落などの影響で4月以降さらに30円/kgの値上げを打ち出した。

2015年度見通し

2015年度産の北米新穀大豆は豊作の見通しであり、来年度期末在庫は潤沢と予想されるが、今後の南米の作付や天候次第では、相場上昇の可能性があるものの11月の米国農務省の発表にて、過去最高の単収(一定面積あたりの収穫量)報告があり、今後は弱含みで推移するものと思われる。

為替(円ドル)は120円を挟んでのレンジで推移しているが、アメリカの金利政策の動向が注目される。

1. 原料相場の動向「食用油」(2) シカゴ大豆相場の推移

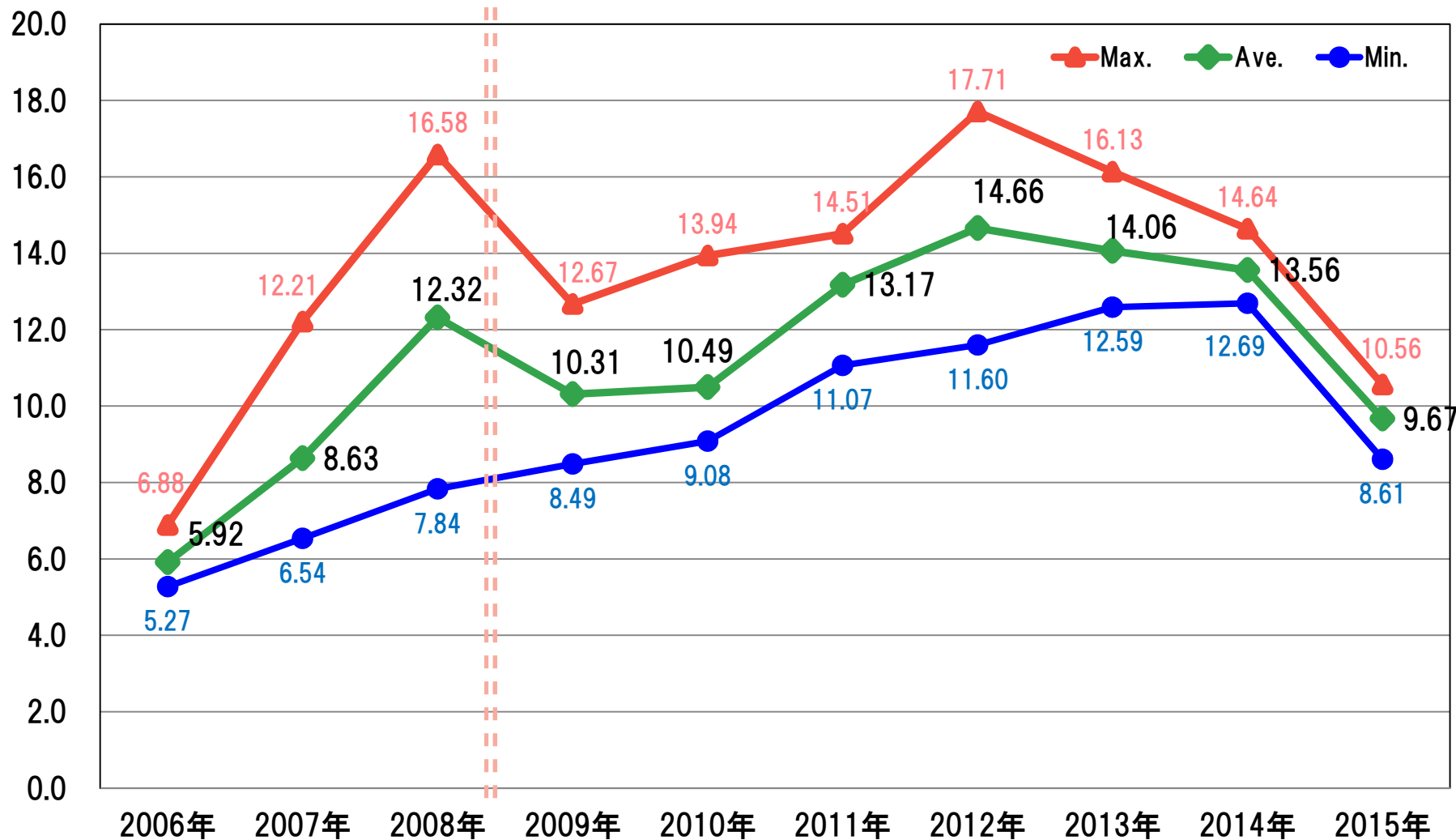


【添付資料】原料相場の動向

単位：ドル/ブツ
/シェール

リーマン・ショック

過去10年最高値 17.71ドル 2012年9月4日



2. 原料相場の動向「鶏卵」(1)

【添付資料】原料相場の動向



2015年度上期の状況と今後の見通し

2014年度上期の鶏卵相場の平均は、207円と前年平均172円より35円上昇。
2015年度の上期平均は227円と更に前年平均207円より20円上昇しており、
近年にない3年連続の価格上昇である。

鶏卵生産量は今後増加していく予定であるが、タマゴ加工品の販売量も
多く、今期年間平均230円前後で推移する見込み。

鶏卵価格(相場)の平均値

2014年度 上期 207円

2015年度 上期 227円

前年同期比 **+約10%**

→ 11月11日現在: **250円**

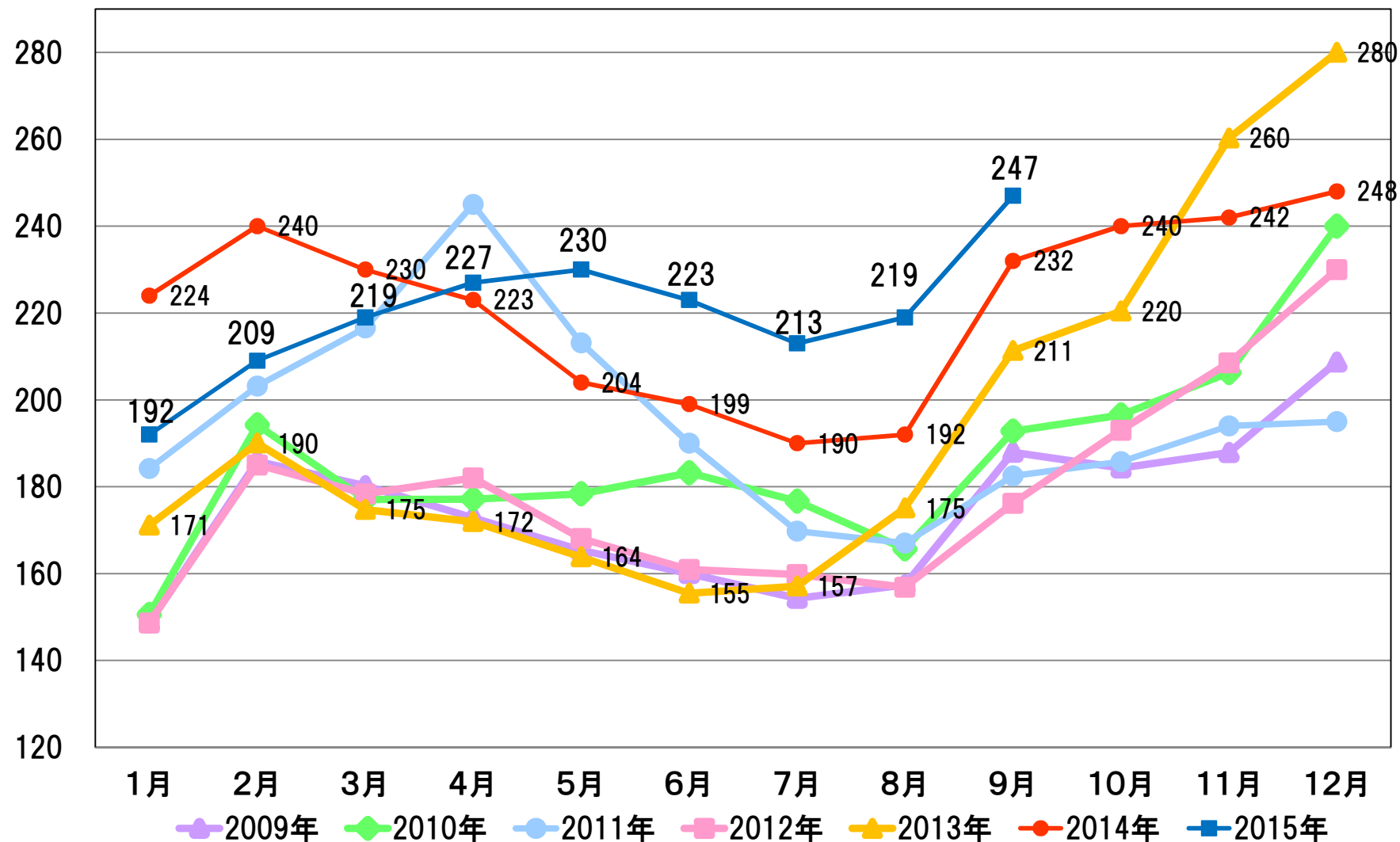
2. 原料相場の動向「鶏卵」(2) 取引価格の推移

【添付資料】原料相場の動向



単位:円/kg

全農たまごMサイズ(東京)



2015年は、1月～9月のデータ

3. 原料相場の動向「馬鈴薯」(1) 主力産地:北海道における状況

【添付資料】原料相場の動向



2014年度

作付面積 : 97.7% (2013年度比)

生産量 : 984千トン (+3.8% / 前年比)

※過去5年間の平均生産量対比では102.6%

2015年度見通し

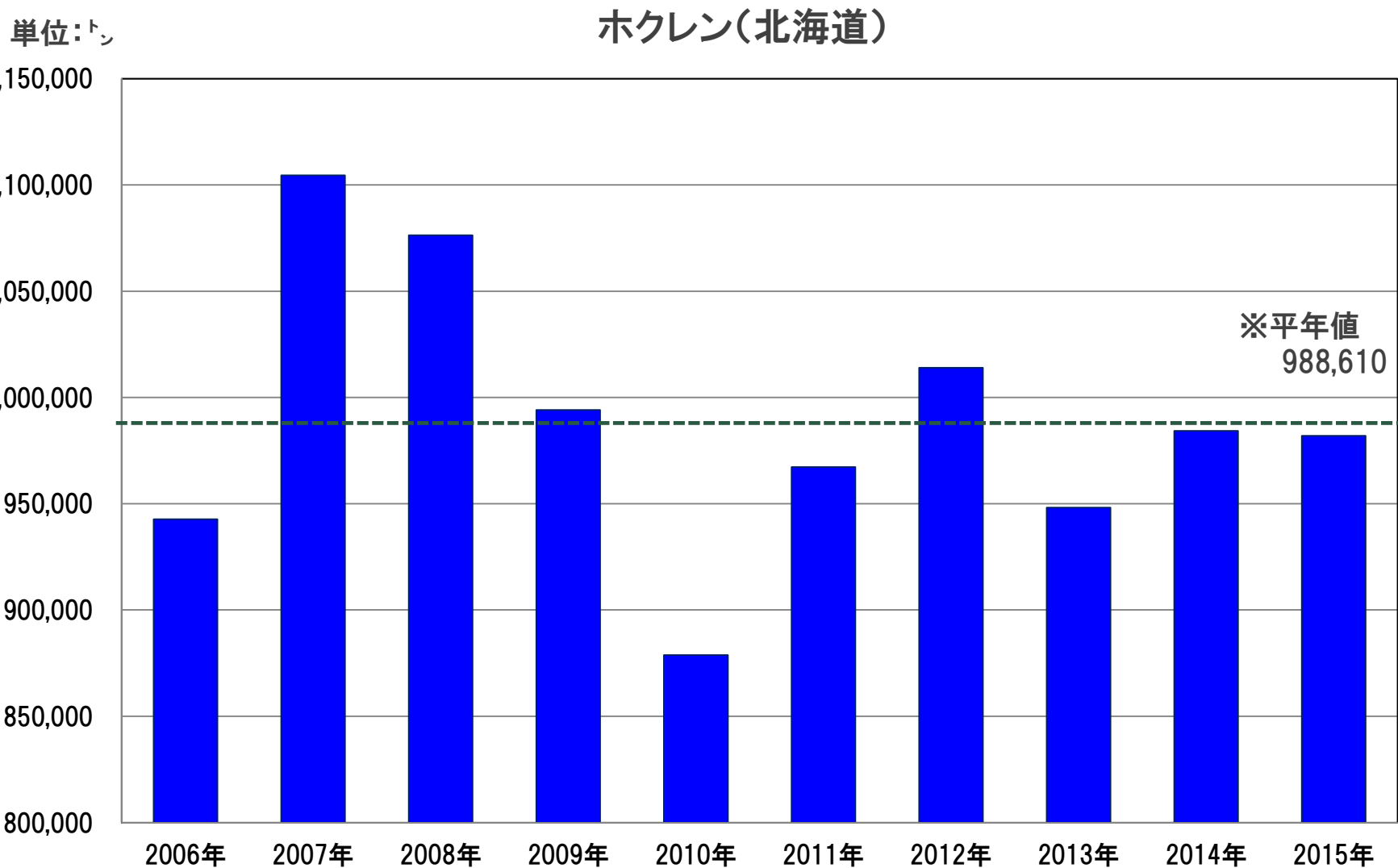
作付面積 : 98.6% (2014年度比)

生産量 : 982千トン (10月1日現在 速報値)

※天候の影響を懸念していたが回復し、概ね良好の見通し

3. 原料相場の動向「馬鈴薯」(2) 生産量の推移

【添付資料】原料相場の動向



平年値：過去10年間での最大値・最小値を除く平均値
2015年は見通し



【添付資料②】

会社概要

1. 会社概要

【添付資料】会社概要



社名	ケンコーマヨネーズ株式会社 KENKO Mayonnaise Co., Ltd.
設立年月	1958(昭和33)年3月
資本金	2,180,781,500円
本店所在地	兵庫県神戸市灘区都通3丁目3番16号 (東京本社) 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
代表者	代表取締役社長 炭井 孝志
事業内容	サラダ・総菜類、マヨネーズ・ドレッシング類、 タマゴ加工品等の食品製造販売
売上高	60,327百万円 2015年3月期(連結)
経常利益	2,776百万円 2015年3月期(連結)
売上構成比	サラダ類45.2%、マヨネーズ・ドレッシング類27.8%、 タマゴ類25.2%、その他1.8% 2015年3月期(連結)
従業員数	2,970名 (連結) 2015年9月30日現在



2. グループ沿革

【添付資料】会社概要



	1958(昭和33)年 3月	会社創立 食用油脂の販売
転換点	1961(昭和36)年 9月	業務用サラダ向け「ケンコーマヨネーズAS」の製造販売を開始
	1966(昭和41)年 6月	ケンコー・マヨネーズ株式会社に商号変更 マヨネーズ・ドレッシング類を事業の基盤として事業展開
転換点	1977(昭和52)年 10月	業界初のロングライフサラダ「ファッションデリカフーズ®」発売 外食・中食市場が広がる中、ロングライフサラダを市場投入・市場創造
	1986(昭和61)年 12月	ごぼうサラダ(業務用)発売、ファイバーブームの先駆け サラダを柱とした調理加工食品およびタマゴ加工品へ事業を拡大
	1992(平成 4)年 6月	ケンコーマヨネーズ株式会社に商号変更
	1994(平成 6)年 11月	日本証券業協会(現 JASDAQ)へ株式を店頭登録
	2005(平成17)年 5月	健可食品(香港) 設立
	8月	サラダカフェ(株) 設立
	2010(平成22)年 4月	頂新グループ(台湾)と提携、頂可(香港)を設立し中国事業を強化
	2011(平成23)年 3月	東京証券取引所市場第二部上場
	2012(平成24)年 3月	東京証券取引所市場第一部指定
	7月	PT. Intan Kenkomayo Indonesia(インドネシア ジャカルタ)を設立
	2014(平成26)年 3月	静岡富士山工場 竣工



←ケンコーマヨネーズAS(61年)

ファッションデリカフーズ®(77年)→



3. 事業概要 幅広い商品ラインナップ



【添付資料】会社概要

商品数3,100以上。年間開発アイテム数は、1,800アイテムを超える

サラダ・総菜類

ロングライフサラダ・
フレッシュサラダ・和惣菜など



FDF®(ファッションデリカフーズ)
FR&FR®(フレッシュ&フレッシュ)



冷凍商品等

和惣菜



ロングライフサラダ フレッシュサラダ

マヨネーズ・ドレッシング類

マヨネーズ・ドレッシング・
クッキングソースなど



マヨネーズ類

ソース類



ドレッシング類



タマゴ加工品

錦糸卵・フレッシュエッグ・
卵焼きなど



タマゴ加工品



錦糸卵



タマゴサラダ

商品
(アイテム)

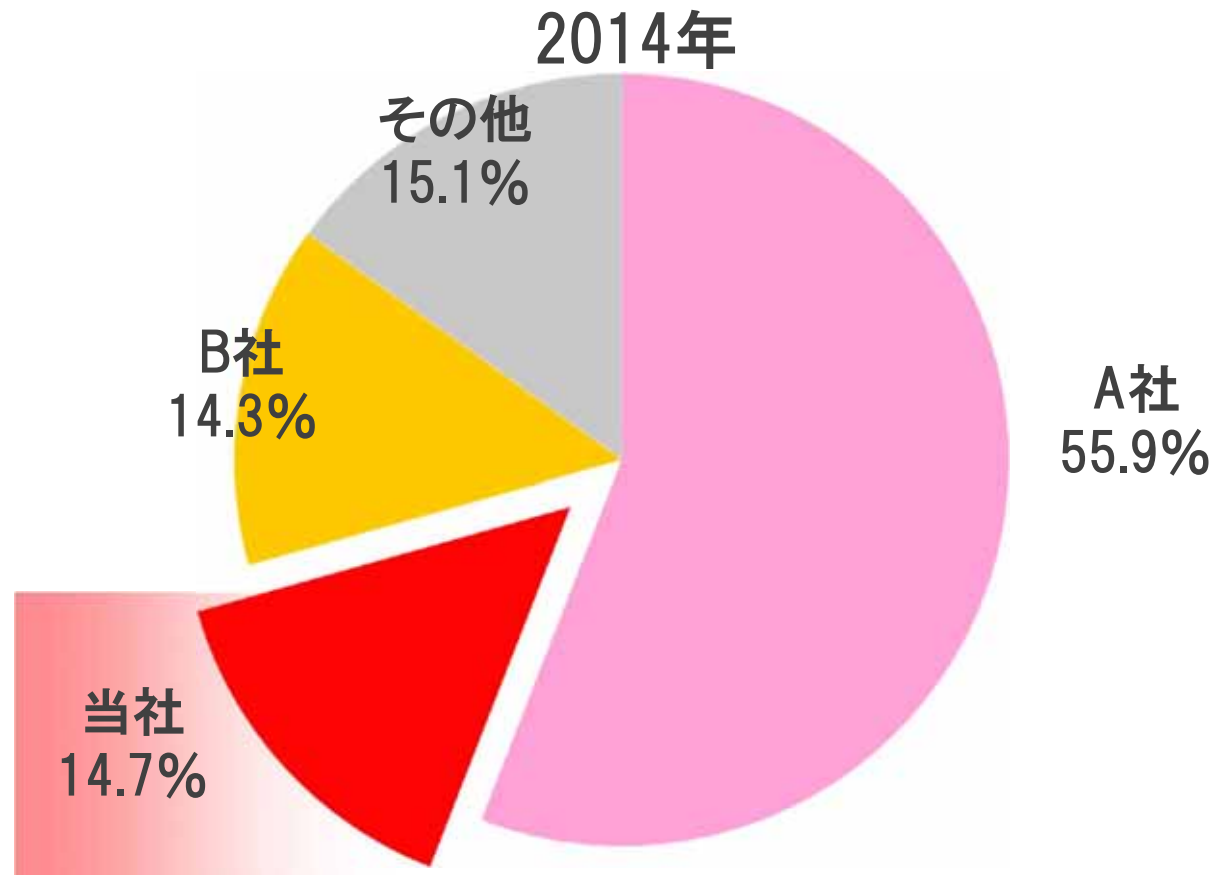
使用例

4. ① 業界における当社の位置づけ

【添付資料】会社概要



■ 業界シェア：マヨネーズ・ドレッシング類



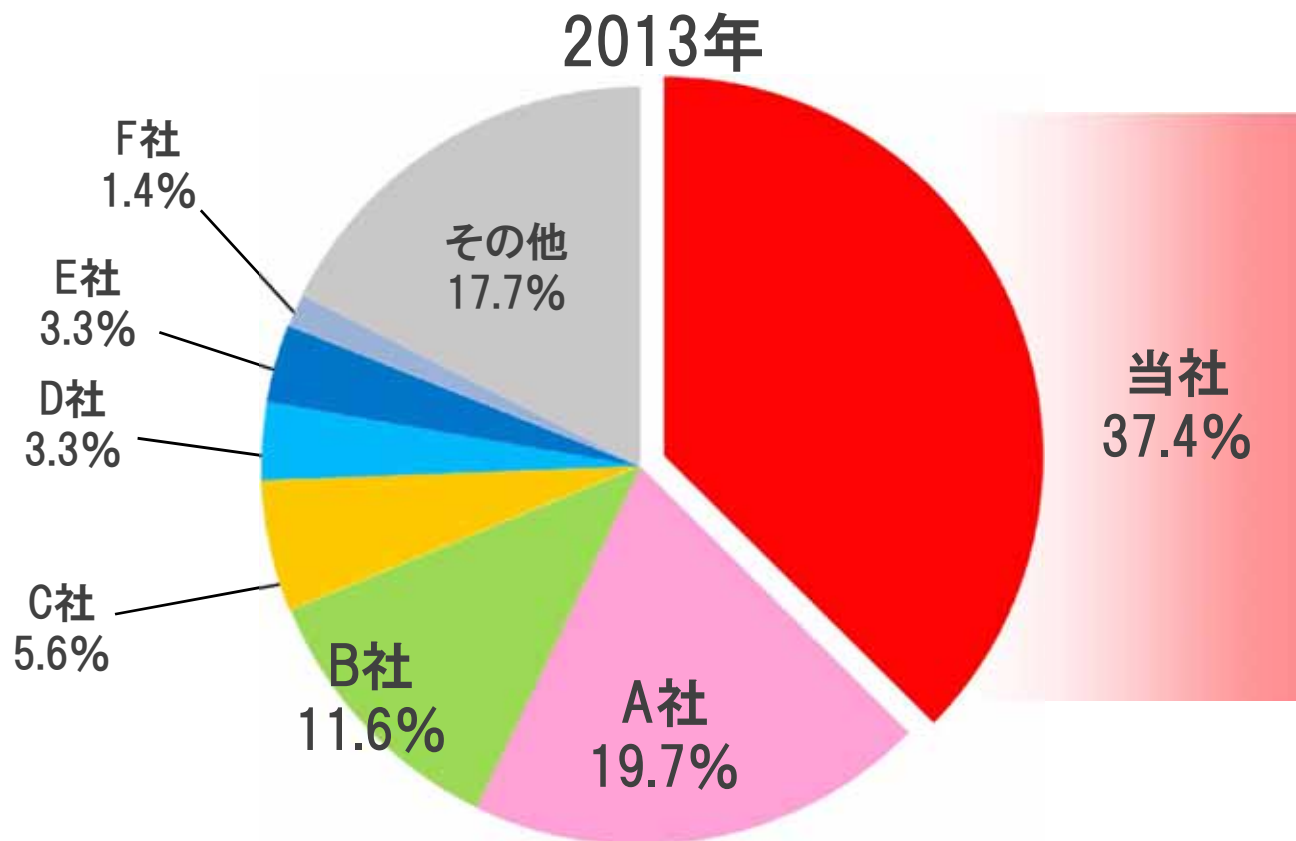
マヨネーズ・ドレッシング類の合計生産量は、シェア2位を継続

4. ② 業界における当社の位置づけ

【添付資料】会社概要



■ 業界シェア : ロングライフサラダ



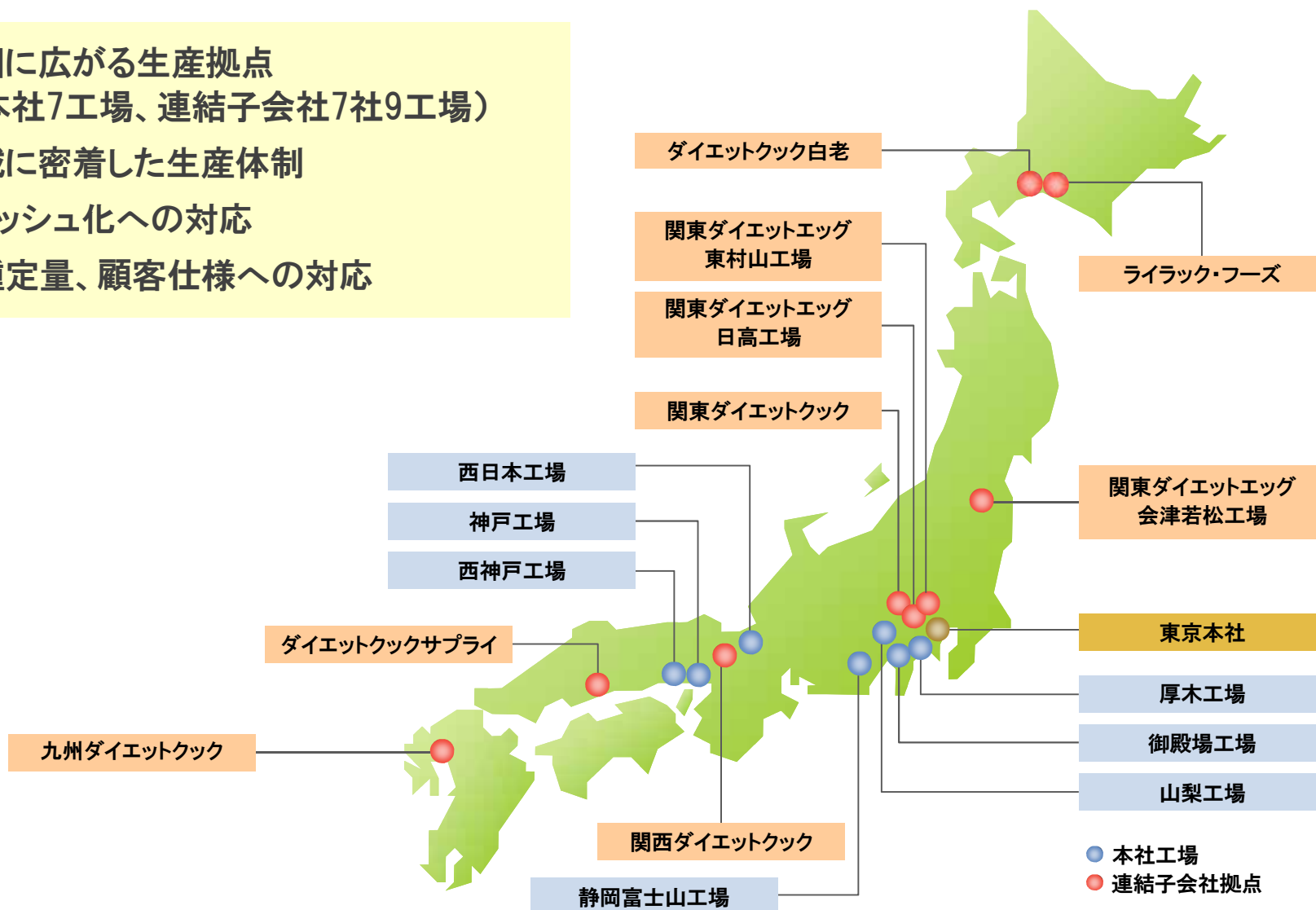
ロングライフサラダでは業界のパイオニアであり、トップシェアを堅持

5. 顧客ニーズへの対応のための生産拠点



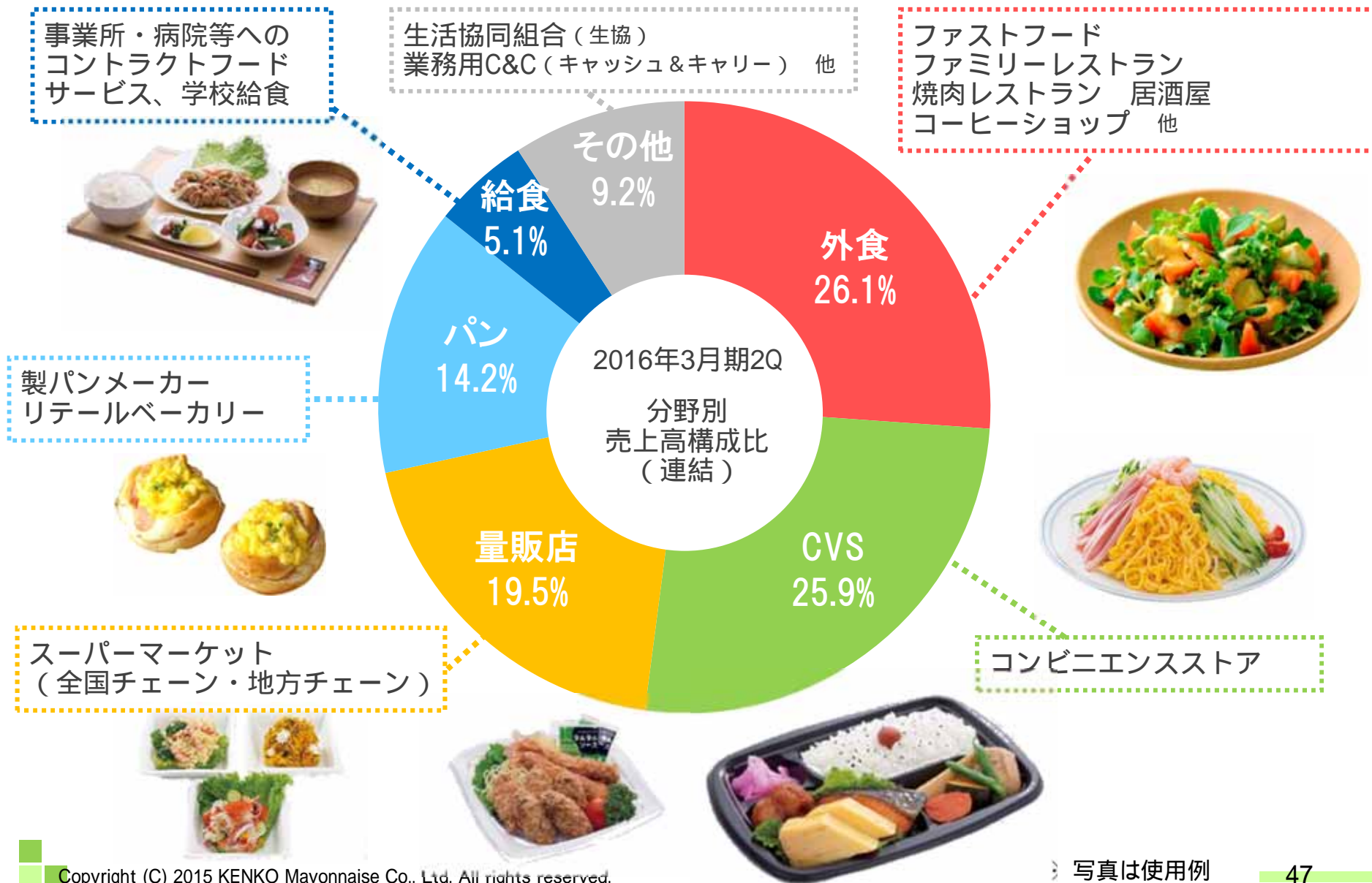
【添付資料】会社概要

- 全国に広がる生産拠点
(本社7工場、連結子会社7社9工場)
- 地域に密着した生産体制
- フレッシュ化への対応
- 変種定量、顧客仕様への対応



6. 【当社の特長①】分野別・業態別の対応、メニュー提案力

【添付資料】会社概要



6.【当社の特長②】 顧客ニーズを満たす優れた商品開発力

【添付資料】会社概要



高付加価値製品の開発

- 顧客のニーズを先取りした付加価値の高い製品や機能性商品を創出
- 健康・環境を考慮した製品の開発

サラダ・総菜類

- ・できたての風味を保持した日持ちサラダ

● ファッションデリカフーズ®(FDF)

- ・外食伸長に大きく寄与

● ごぼうサラダ

- ・幅広い用途 ・健康志向商品



食品ヒット大賞優秀ヒット賞 受賞!

● レストランポテトサラダ

- ・ポテトの風味 ・中食市場も注目

● かくぎりポテトサラダ

- ・ポテトの固形感 ・汎用性



業務用加工食品ヒット賞 受賞!

マヨネーズ・ドレッシング類

マヨネーズ類

- ・固形状マヨネーズタイプ
- ・ノンエッグマヨネーズタイプ
- ・冷凍加工用マヨネーズタイプ

ドレッシング類

- ・ジュレ状ドレッシング
- ・低カロリーノンオイルドレッシング

ソース類

- ・液状バターソース

● ガーリックバターソース

- ・液状 ・冷蔵しても固まらない

業務用加工食品 ヒット賞 受賞!



タマゴ加工品

- ・日持ちタイプタマゴサラダ
- ・加熱しても固まらないスクランブルエッグ
- ・タマゴシート



冷凍ニューホテルスクランブルエッグを使用したモーニングプレート



冷凍味わいオムシート®を使用したお祝い雑寿司

6.【当社の特長③】 素材へのこだわり

【添付資料】会社概要



おいしさや安全・安心につながる素材へのこだわり

- 原料の受け入れから出荷まで、厳しい品質管理のもとで生産
- シーズンに合った素材を調達し、その季節に合った調理法を提案
- 地球環境に配慮した食品リサイクルの実施

■ じゃがいもの場合

サラダに適した品質のじゃがいもを作るため
作付から収穫・保管まで
栽培計画を契約農家とともに取り組む



すべて顔の見える契約農家から
安全・安心なものを仕入れ



シーズンに合ったおいしいじゃがいもを調達
(年間ポテトリレーの提案)

11月～1月：きたあかり

2月～10月：さやか・男爵 等

食品リサイクルへの取り組み

ポテトサラダの製造工程で出るじゃがいもの皮(ポテトピール)を、
西日本工場の敷地内にある飼料製造プラントにて液状化(国内初)。
養豚場にて飼料と混合。 → 食品残さを**有価飼料**へ

W受賞!

第22回 食品安全安心・環境貢献賞

第1回 食品産業もったいない大賞

7. サラダカフェ事業① ～Web展開～



【添付資料】会社概要

「市場演出型企业」の実践として、“サラダ料理で新しい世界を食卓に”をコンセプトに
毎日の生活が楽しくなるようなサラダ料理でお客様に笑顔とサービスをお届け

“サラダ”に関心のある人たちが集まる「サラダ情報専門サイト」
～1,200を超えるサラダ料理レシピの紹介・投稿レシピの商品化・アンケート調査～



7. サラダカフェ事業② ～ショップ展開～

【添付資料】会社概要



三位一体提案の実践として百貨店やショッピングモールなどに出店(17店舗)

- ・Salad Cafe 近鉄あべのハルカス店
- ・Salad Cafe 高島屋大阪店
- ・Salad Cafe 高島屋京都店
- ・Salad Cafe SALA PARA 阪急百貨店うめだ本店
- ・Salad Cafe SALA PARA 千里阪急店
- ・Salad Cafe イオンモール京都五条店
- ・Salad Cafe 東武百貨店池袋店
- ・Salad Cafe 小田急百貨店新宿店
- ・Salad Cafe 小田急百貨店町田店
- ・Salad Cafe ザ・ダイヤモンド横浜店
※2015年12月1日から
Salad Cafe ジョイナス横浜店へ店舗名変更
- ・Salad Cafe ルミネ立川店
- ・WORLD SALAD Chef's DELI
- ・皿多屋 Ario八尾店
- ・皿多屋 Ario鳳店
- ・皿多屋 イトーヨーカドーあべの店
- ・皿多屋 イトーヨーカドー武蔵境店
- ・皿多屋 イトーヨーカドー武蔵小金井店



Salad Cafe 小田急百貨店新宿店



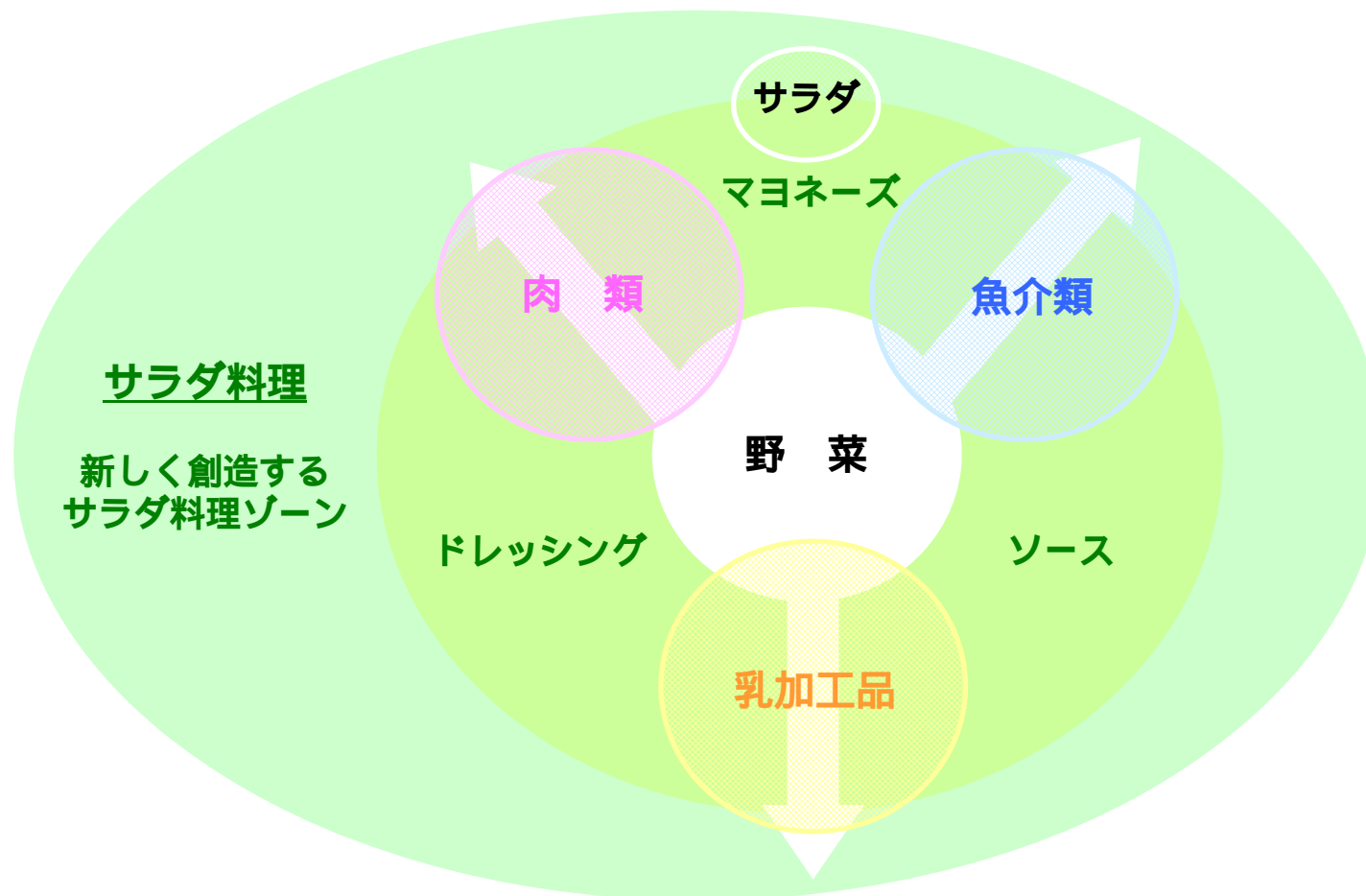
Salad Cafe 近鉄あべのハルカス店

(ご参考) サラダ料理の定義

【添付資料】会社概要



- ◆ 野菜＋あらゆる食材(肉類・魚介類・乳加工品)
＋あらゆるソースとの調和を図り、進化発展させた主菜サラダ



【添付資料③】

主な指標の推移

1. 業績の推移

【連結】主な経営指標の推移

【添付資料】主な指標の推移



単位：億円	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期 (予想)
売上高	511	506	518	545	573	603	632
営業利益	29	27	21	27	24	30	30
経常利益	28	26	20	25	22	27	30
当期純利益	14	13	10	14	12	16	17
1株当たり 当期純利益(円)	112.27	103.47	72.46	99.16	89.08	115.57	124.55
純資産	109	127	134	148	158	179	—
総資産	297	307	304	339	396	394	—
自己資本比率(%)	36.7	41.3	44.4	43.5	39.8	45.5	—
自己資本当期純利益率(%) (ROE)	14.1	11.2	7.9	10.0	8.3	9.6	—
総資産経常利益率 (%) (ROA)	9.6	8.9	6.8	8.0	6.1	7.0	—

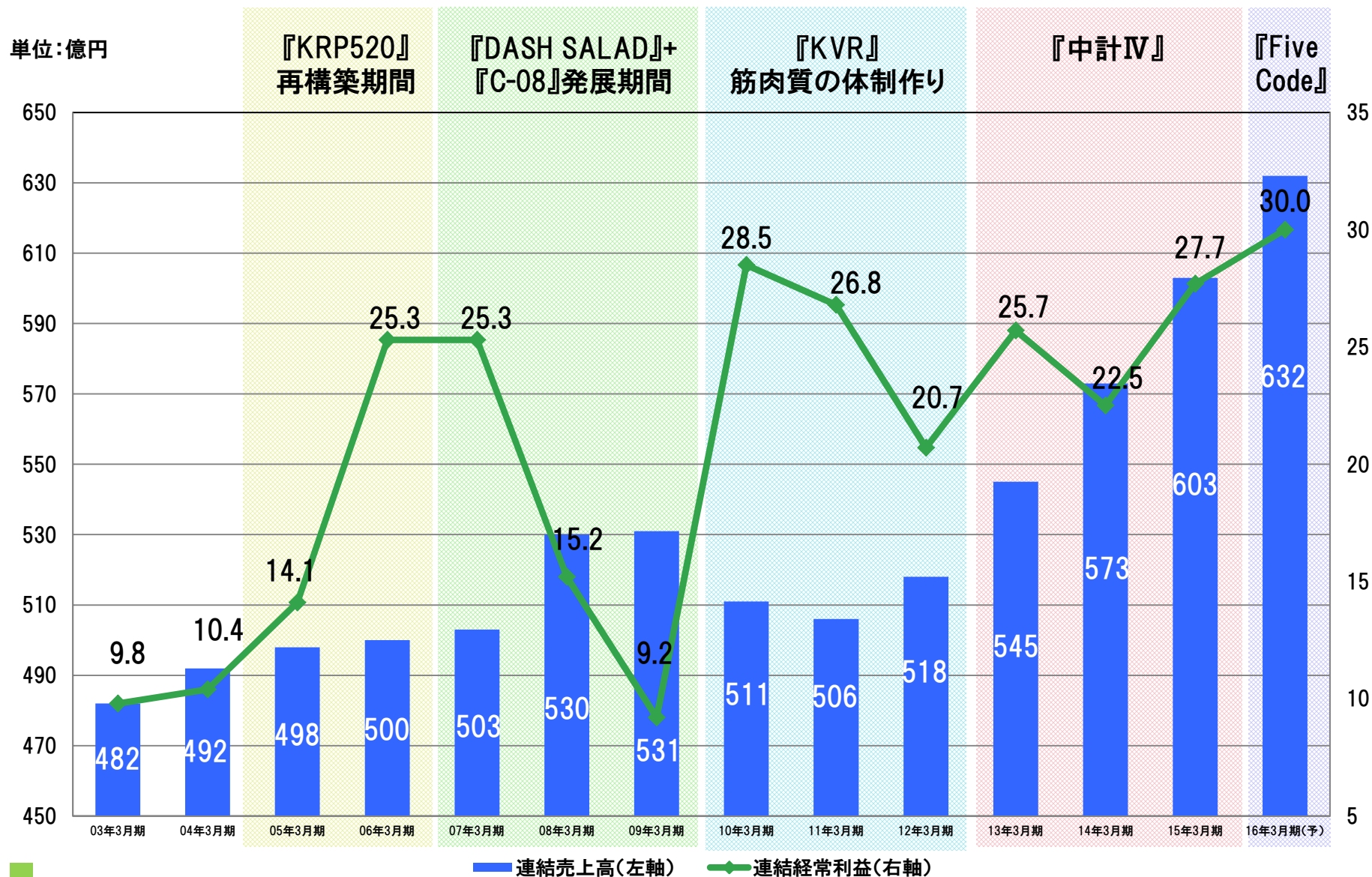
1. 業績の推移

【連結】売上高・経常利益

【添付資料】主な指標の推移



単位：億円



2. 株主還元

配当政策・株主優待品

【添付資料】主な指標の推移



配当政策

連結ベースでの配当性向20%を意識して、配当の継続性に配慮しつつ、
当社の今後の成長と発展にあわせて、安定配当水準を高めていく。
2013年3月期より利益還元機会の増加を目的に、中間配当を実施。

株主優待品

権利確定日：決算期末(3月末日)現在の株主さま
送付時期：毎年5月下旬～6月初旬



当社製品2,500円相当↑

贈呈の基準

当社製品1,000円相当↑

贈呈品

10単元(1,000株)以上の保有の株主さま一律

当社製品 2,500円相当

1単元(100株)以上10単元(1,000株)未満保有の株主さま一律

当社製品 1,000円相当

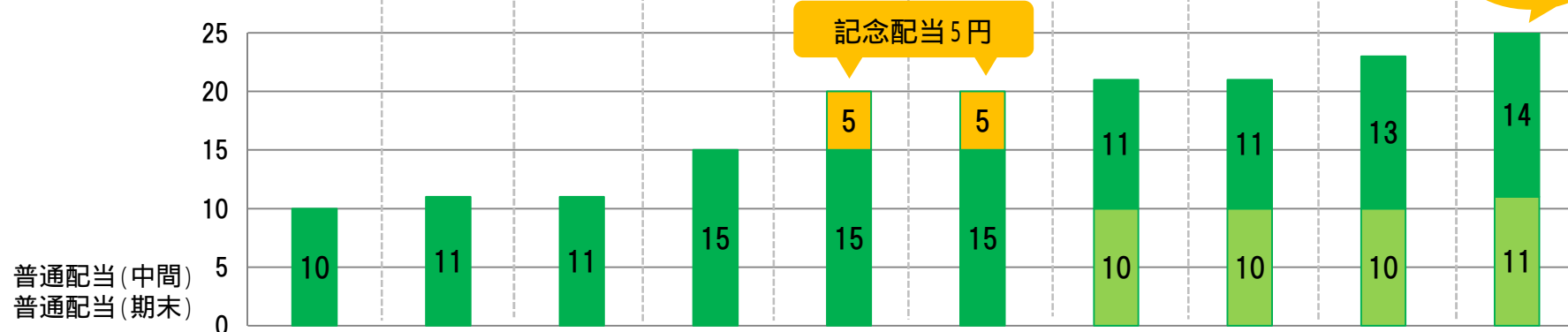
2. 株主還元

配当金推移

【添付資料】主な指標の推移



	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期 (予想)
配当金(円/株)	10	11	11	15	20 ^{※3}	20 ^{※4}	21	21	23	25
配当性向(%)	6.5	19.0	47.1	13.4	19.3	27.6	21.2	23.6	19.9	20.1
配当利回り(%) (ご参考) ^{※1}	0.9	2.6	3.0	2.5	3.6	3.2	2.3	2.3	1.4	—
純資産(株主資本)配当 率(%) (DOE) ^{※2}	1.5	1.5	1.5	1.9	2.3	2.2	2.1	1.9	1.9	2円 増配予定



1 配当利回り = 1株あたりの配当金(合計) / 各年3月末日時点株価(終値) × 100

2 純資産(株主資本)配当率 = 1株あたり配当金(合計) / ((期首 + 期末 1株あたり連結純資産) ÷ 2) × 100

3 東京証券取引所市場第二部上場記念配当 5円を含む

4 東京証券取引所市場第一部上場記念配当 5円を含む

お問い合わせ



- IRお問い合わせ先

- 東京本社 : 東京都杉並区高井戸東3丁目8番13号
- 担当者 : 執行役員 広報室長 渡辺 亮彦
- 電話 : 03-5962-7787
- E-mail : ir@kenkomayo.co.jp

- 将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。